

1 学校教育目標・重点目標	
学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）
豊かな心と広い視野、創造的な姿勢を持ち、主体的に社会貢献できる、心身ともにたくましい人間を育てるために、以下の3点を目指した教育を推進する。 1 自らの生き方を考えるとともに、思いやりの心と社会規範意識を持ち、時代の変化に対応できる柔軟かつ能動的で個性豊かな人間性の醸成 2 自分の興味や適性を認識し、将来の主体的な職業選択の実現に向けて着実に努力していく能力・学力を持つ生徒の育成 3 地域の自然や歴史・伝統を理解し、地域の産業や文化の発展に寄与するとともに、広く世界に目を向け、社会の発展に創造的に貢献できる生徒の育成	(1) 総合学科として、地域の産業・文化の振興と環境保全に貢献する人材教育をするために、積極的に地域との連携を図り、生徒一人ひとりの意欲と自尊心の向上を目指す。 (2) キャリア教育を充実させ、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てる教育活動を計画的に行い、進路実現を目指す。 (3) 安心で安全な学校(環境)づくり体制を構築し、生徒会活動・クラブ活動・課外活動を通じて、生徒の多様性・独自性を尊重し、主体的に生きる力を育むとともに、豊かな情操の形成、社会規範意識の育成および体力の向上を図る。
	今年度の重点目標
	① 基本的生活習慣を向上させ、安全安心な環境を維持し、いじめを許さない人権教育を推進する。
	② 信州の総合学科高校としてのあり方を再検討し、地域との連携を充実させたキャリア教育体制を更に強化する。
	③ 主体的・探求的な学びをとおして、生徒一人ひとりが目的意識を持ち、校内外の学習活動に取り組めるよう支援する。
[成果と課題:達成度]	
総合評価	① 基本的生活習慣の向上に向けた取組では、学校全体が落ち着いた雰囲気となり、取組の成果が見られる いじめを許さない人権教育については、あらゆる機会をとおして指導し、生徒の意識の向上に努めている ② 地域との連携については、なかのバラまつりなどの地元行事へ積極的に参加している ③ 2年生からの科目選択は、進路目標を明確にすることに重点を置くことができた 主体的・探求的な学びについては、手探りながらも生徒に考えさせることを中心として実施できた
[改善策・向上策]	
	① 基本的生活習慣の向上、及びいじめを許さない人権教育については、引き続きあらゆる機会をとおして指導を継続していく ② 地域の総合学科高校として、外部講師の積極的活用、生徒の地域での活動を進める ③ 生徒が進路目標に向けて積極的に学習に取り組めるよう、内発的動機付けにつながる指導方法について研究を進める 主体的・探求的な学びについては、生徒がより興味・関心を持ち、積極的に取り組めるよう検討を進める

2 評価項目・評価の観点

（「達成度」のA～Dは、「A 達成できた、B ほぼ達成できた、C 改善の余地がある、D 相当の改善を要す」を表す。）

対象	評価項目	評価の観点	重点	成果と課題	達成度	改善策・向上策
企画・推進	組織の連携	各部署と連携をとりながら、現状の課題の共有、将来に向けた改善、対応に取り組むことができたか	①②③	本校の「グランドデザイン」・「3つの方針」ならびに「新学習指導要領」への対応について協議を進めることができた。	B	・グランドデザイン・3つの方針に沿って、学校教育目標・中長期目標の見直しを進める ・学校行事や本校のシステムなど教育効果が最大となるよう見直しを進める
教務	情報の共有・発信	生徒の基本的生活習慣の向上や安心安全な環境維持のため、各種情報を適切に生徒・保護者、職員に提供することができたか	①	・メール連絡システムによる、生徒・保護者および職員に向けた情報発信を的確に行うことができた（オクレンジャー未登録者への登録励行に努める）	B	今後も更にオクレンジャーの登録励行に努め、学校と生徒、家庭との連携を深めていく。
		地域の方や中学生に、立志館だよりやホームページ、学校開放を通じて、総合学科高校としての本校の教育活動や魅力を伝えることができたか	②	・「ホームページ」「立志館だより」「学校案内」の精錬に努めて、きめ細やかな情報提供、発信をすることができた	A	より分かり易い文言、デザイン等を洗練し地域社会に情報提供をしていきたい。
キャリア教育	学力の向上	生徒一人ひとりが基礎学力を定着できるように、学力向上を目指した主体的・探求的な学びの授業を行うことができたか	③	・生徒一人ひとりが基礎学力を定着できるように取り組んだ(マナトレ、基礎力診断テスト) ・2年生の「総合的な探究の時間」で探究的な学びの授業に取り組んでいる	B	・基礎力診断テストの結果をフィードバックできるよう体制を構築
		進路希望者の進路実現のため、放課後の学力補充や長期休業を活用して、充実した補習を実施することができたか	③	・放課後の進学補習(1～3年)、長期休業や保護者懇談会午後に学力補充のための補習に取り組んでいる	B	・学年を超えた指導体制の確立(補習・模試等)
	地域との連携を充実させたキャリア教育の推進	生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け「産業社会と人間」をはじめとし、インターンシップや地域との連携事業の中でキャリア教育が十分に行うことができたか	②	・就業体験や地域との連携事業に参加する中で、社会的自立に向けた経験を積ませることができている	B	・2年生の段階での就業体験を増やしていきたい。
	指導体制の充実	全職員が一丸となって、作文・小論文指導や面接対策指導を行い、生徒一人ひとりに応じた取組を行うことができたか	③	・全職員が3学年全員を数名ずつ分担し、作文・小論文指導や面接対策指導に取り組んでいる	A	・今後も取り組んでいきたい。
	科目選択に対する支援の充実	生徒の進路希望に応じた科目選択を行うための配置表(時間割)を作成することができたか	②③	新2年の時間割は進路に必要な科目が必ず履修でき、進路に沿った自由選択科目が履修できるよう配慮した。新3年の時間割は自由選択科目について予備調査を実施し希望に添えるよう努めた。	B	・（時間割）選択決定までのスケジュールの改善や関係する係との連携が今後の課題。
生徒指導	生徒支援の充実	身だしなみ、挨拶の励行、時間厳守を重点課題とし、基本的生活習慣や携帯マナーを向上させることができたか	①	身だしなみ、携帯の取り扱いとマナーについては、引き続き意識向上に努める。	B	生徒理解を深め、情報共有など生徒支援体制を整え、生徒に校内・校外においての行動態度について高校生としてふさわしいあり方を学ばせたい
		人権を尊重する態度、社会規範意識を向上させることができたか	①	・人権教育映画において、2学年のみ別の映画鑑賞としたが修学旅行先の内容でもあり人権意識を高める効果は大きかったと思われる。 ・高校生活が人権をしっかりと学ぶことができる最後の機会となる生徒もいるので、あらゆる場面を通じて互いの人権を尊重することの大切さをどのように伝えていくかが課題である。	B	一人ひとりの個性や立場を尊重し、自尊感情や他者理解を深め人権感覚を養うための講演会や映画鑑賞を引き続き設定するようにしたい。
		生徒・保護者、担任等からのカウンセリング希望に対して適切かつ迅速に対応することができたか	①	・教師間の情報共有を図り、支援の必要な生徒や担任からの希望に対応することができた	A	・今後も取り組んでいきたい。
生徒会	生徒会活動の支援	生徒の自主的活動の企画・運営を援助し、生徒が主体的に活動できるように支援することができたか 生徒会最大の行事である文化祭では活動を通じて、職員全体で生徒の支援することができたか	②	・年度当初は、スケジュールに追われ、指示された事を消化していっただけであった生徒だったが、生徒会行事を繰り返すうちに生徒自ら考え主体的に運営することができた。 ・文化祭においては、係業務や会場配置の変更を行ったが、職員・生徒の連携もうまくいき、円滑に運営できた。	B	・より主体的に生徒が生徒会活動や行事に関わり運営していけるようにしたい。
		ボランティア活動や地域行事への自主的に参加できるよう支援することができたか	③	バラ祭りボランティア,20歳未満飲酒防止キャンペーン、薬物防止キャンペーンに参加した。	B	・クラブや生徒会本部生徒が各種のボランティアに参加してきた。今後も生徒が積極的にボランティアに参加するような校風の醸成に努めたい。
	クラブ活動の充実	クラブ活動への参加を促し、クラブ活動を通して心身の育成や充実した学校生活を送れるよう支援することができたか	①	・1年生入学当初にクラブ説明会を実施し、新入生に積極的にクラブ加入を促すことができた。	B	・1年生入学当初のクラブ加入率を高めるとともに、途中でやめる生徒を極力少なくしたい。
図書・視聴覚	図書館運営の充実	生徒が主体的に学びを深めることや進路選択ができる適切な資料を収集し支援することができたか	②③	・委員が率先して行事を計画し支援することができた ・進路に関するコーナーを新たに設け、資料も最新の物に更新した	A	・役員以外の委員も積極的に関わる行事内容にしてい ・進路関係の資料をより充実させていく
	視聴覚運営の充実	放送委員会に対し、校内放送や文化祭での放送業務が円滑にできるように援助することができたか		・生徒と連絡を密にし、援助することができた	B	・放送機材の老朽化・故障への対応には注意をはらっていきたい
保健・環境整備	健康で過ごしやすい学校づくり	学校全体で健康管理を進めることができたか	①	・学校職員全体の協力で身体測定・健康診断が円滑に実施することができた ・夏休み前後の暑い時期に熱中症の予防対策と注意喚起をすることができたが、環境整備などの課題は残った	A	・学校職員全体で、今年度の反省や課題をもとに来年度はより一層、生徒の「健康」への意識を高め健康管理を進めていきたい
	資源のリサイクル化の推進	資源物のリサイクルを生徒・職員全員で進めることができたか	①	・リサイクルステーションの活用について職員全体の協力を得られていた ・今後も環境整備充実のためより一層の協力をお願いしていきたい	B	・学年会中心にゴミの分別について、意識向上に努めていただく等の意識向上に努める
同窓会・PTA	同窓会の充実	生徒の学習・クラブ活動の支援を図り、同窓会事業等を充実させることができたか	②	・事業を精選し年間計画を立ててきたが、活動に支障なく展開できた ・クラブ活動および団体活動への支援をすることで協力できた	A	・次年度も精選した年間計画を立て、生徒および同窓生や団体に対して支援を進め、引き続き同窓会活動を充実していきたい
	積極的なPTA活動の推進	教職員と保護者および地域が連携を深め、積極的なPTA活動を行うことができたか	②	・例年、PTA総会当日にPTA評議員と職員の懇親会を実施していたが、今年度は全保護者に呼びかけ、より多くの方と交流できる機会となった。 ・PTA作業とPTA行事は今年度も多くの保護者・職員にご参加いただき、大変好評であった。	A	・PTA行事(いちご狩り)について、来年度以降も継続して実施していけるか検討していきたい。 ・PTAの活動について、多くの会員の方を知っていただけるよう、今後も広報やHPを通じて発信していきたい。